

子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力をお願い

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在川越市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。また、平成32年度から5年間を計画期間とする次期事業計画の策定の準備を進めています。

この調査は、次期計画策定にあたり、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、就学前のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選ばせていただいた世帯にご協力をお願いするものです。

ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることも一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年9月

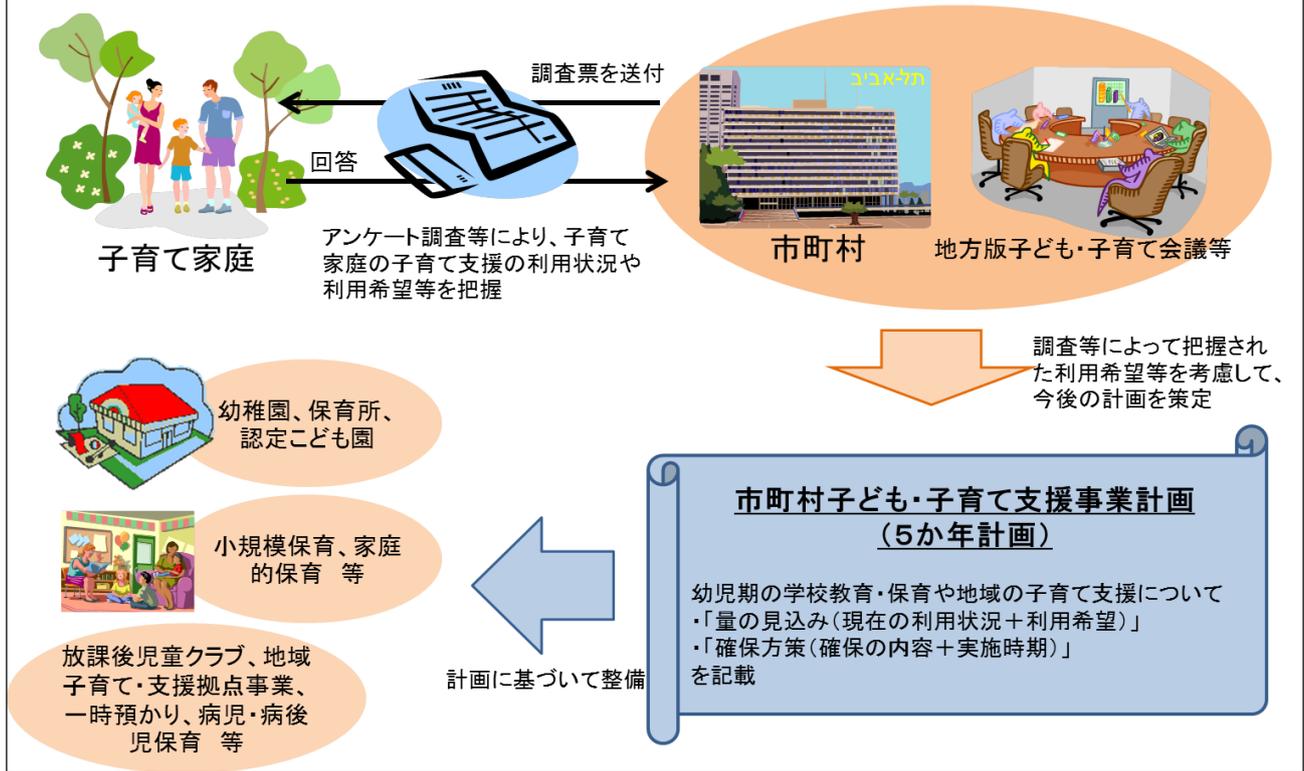
川越市長 川合善明

《 ご記入に際してのお願い 》

1. 特に注意書きがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。（○は1つ）などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
4. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください。
6. お子さんやご両親の年齢は、すべて平成30年9月1日現在でご記入ください。
7. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますのでご注意ください。
8. ご記入後、三つ折りのうえ同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月19日（金）までにご投函ください。切手を貼る必要はございません。
9. このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。
10. 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

川越市役所 こども未来部 こども政策課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1
TEL : 049-224-6278 (直通) FAX : 049-223-8786

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 小規模保育施設：保育を必要とする満3歳児未満の子どもに対して保育を行う施設
(利用定員6人～19人) (児童福祉法第6条の3第10項)
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

先般、平成31年10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化について報道がされました。それによりますと、3歳～5歳児の幼稚園・保育所・認定こども園の保育料は原則無償(幼稚園は月2.57万円を上限)、その他幼稚園における預かり保育や認可外保育施設の保育料(利用料)についても、保育の必要性の認定事由に該当するお子さんに限り月3.7万円まで(預かり保育は幼稚園保育料の上限2.57万円を含む)無償化の対象となることが示されました。また0歳～2歳児につきましても、住民税非課税世帯に限り無償化の対象(月4.2万円を上限)となることが示されました。(平成30年5月「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」より)

今後さらに詳細な内容が示されることと思われませんが、現時点の内容から変更になる場合も想定されます。

今回の調査につきましては、より実態に即したニーズを把握するため、上記の無償化が実施されることを想定した上で、利用の希望等をご回答いただきますようお願いいたします。

- (1) -2 (1) -1で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり □ 日 うち土・日 □ 日 1日当たり □ □ 時間

- (1) -3 (1) -1で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

家を出る時刻 □ □ 時頃 帰宅時刻 □ □ 時頃

- (1) -4 (1) -1で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。通勤にかかる時間についてお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。時間は(例)005分～120分のように、分単位でお答えください。(数字は枠内に一字)また、主な通勤の方法について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

通勤にかかる時間 □ □ □ 分
 主な通勤の方法 1. 徒歩 2. 自転車 3. 車 4. バス 5. 電車 6. その他 ()

- (2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 正規雇用 2. 非正規雇用(パート・アルバイト含む) 3. 就労していない

- (2) -1 具体的な状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 3. フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 4. フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

} →(2)-2へ
 } →問14へ

- (2) -2 (2) -1で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり □ 日 うち土・日 □ 日 1日当たり □ □ 時間

- (2) -3 (2) -1で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

家を出る時刻 □ □ 時頃 帰宅時刻 □ □ 時頃

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ	2. 利用していない ⇒ 問15-6へ
--------------------	---------------------

問15-1

問15-1～問15-5は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<p>1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)</p> <p>3. 入園前の幼稚園の預かり保育</p> <p>5. 認定こども園の一時預かり保育 (4. の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業)</p> <p>7. 認定こども園 (保育(2号・3号)認定による利用)</p> <p>9. 家庭的保育 (市等の認可を受け、保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)</p> <p>11. 家庭保育室 (市等の指定を受けた認可外保育施設)</p> <p>13. その他の認可外の保育施設</p> <p>15. 児童発達支援センター・児童発達支援事業所 (心身に障害または発達の遅れがある就学前児童に、集団生活への適応訓練などを行う施設)</p>	<p>2. 幼稚園の預かり保育 (1. の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】)</p> <p>4. 認定こども園 (教育(1号)認定による通常の教育時間の利用)</p> <p>6. 認可保育所 (市等の認可を受けた施設)</p> <p>8. 小規模保育施設 (市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数の子どもを保育する施設)</p> <p>10. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)</p> <p>12. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業)</p> <p>14. ファミリー・サポート・センター (地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業)</p> <p>16. その他 ()</p>
--	---

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間 (□	□	時～	□	□	時)
-------	---	---	-------	---	---	------	---	---	----	---	---	----

(2) 希望

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間 (□	□	時～	□	□	時)
-------	---	---	-------	---	---	------	---	---	----	---	---	----

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 市内	2. 他の市町村 (市町村名:)
-------	-------------------

問15-4 平日に定期的に利用している教育・保育の事業への主な送迎者は誰ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、送迎にかかる時間はどれくらいですか。時間は、(例)005分～120分のように、分単位でお答えください。

主な送迎者	1. 母親	2. 父親	3. 祖父母	4. その他 ()
送迎にかかる時間	□	□	□	分

問15-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（)

問15-6 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（)

問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。※無償化の措置を踏まえてご回答ください。なお、【 】に掲載されている利用料等は平成30年5月現在の金額です。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
【平均入園料64,000円程度 平均月額保育料25,000円程度】※3歳で入園した場合の当該年度
※世帯の所得状況に応じた補助金が支給されます。支給金額：年額21,000円～308,000円
2. 幼稚園の預かり保育（1. の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】）
【利用料金は園によって独自に設定されています。】
3. 入園前の幼稚園の預かり保育
【利用料金は園によって独自に設定されています。】
4. 認定こども園（教育(1号)認定による通常の教育時間の利用）
【月額保育料0円～24,000円程度】※世帯の所得状況・児童年齢に応じた保育料設定
例) 4月から8月までの保育料は前年度の市民税所得割額
9月から3月までの保育料は今年度の市民税所得割額
市民税の所得割額 77,101円以上211,200円未満 3歳～5歳児 20,500円
5. 認定こども園の一時預かり保育（4. の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業）
【2. と同様】
6. 認可保育所（市等の認可を受けた保育所（定員20人以上））
【月額保育料0円～59,300円程度】※世帯の所得状況・児童年齢に応じた保育料設定
例) 4月から8月までの保育料は前年度の市民税所得割額
9月から3月までの保育料は今年度の市民税所得割額
市民税の所得割額 130,000円以上145,000円未満
3歳未満児 42,200円 3歳児 23,200円 4歳児以上 21,700円
7. 認定こども園（保育(2号・3号)認定による利用）
【6. と同様】
8. 小規模保育施設（市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数(概ね6～19人)の子どもの保育を行う施設）
【月額利用料 認可保育所と同様】

選択肢は次のページに続きます

9. 家庭的保育（市等の認可を受け、保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する施設）※市内当該施設なし
【月額利用料 認可保育所と同様】

10. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい

11. 家庭保育室（市等の指定を受けた認可外保育施設）
【平均入園料13,000円程度 平均月額保育料54,000円程度】

12. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）※市内当該施設なし
【月額利用料 認可保育所と同様】

13. その他の認可外の保育施設

14. ファミリー・サポート・センター（地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業）【利用料 1時間700円】

15. 児童発達支援センター・事業所
【月額利用料 利用したサービス費用の1割負担 世帯の所得に応じて月額負担上限0円～37,200円】

16. その他（ ）

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 市内 2. 他の市町村（市町村名： ）

問16-2 問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」又は「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3.～16.」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ

問17 川越市では、通勤等で、電車を利用する子育て世帯等の利便性を高めるため、本川越駅周辺に保育ステーションの設置を予定しています。保育ステーションでは、早朝に児童を預かり、保育所等の開園に合わせての送迎や、保護者の方が迎えに来るまでの預かり保育を送迎保育事業として行います。
このような送迎保育事業を利用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○を付けてください。また、利用したい時間帯を（例）06時～20時のように24時間制でご記入ください。（数字は枠内に一字）なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したいと思わない
2. ほぼ毎日利用したい
3. 週に数日利用したい
4. 月に数日利用したい

→ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

問17-1 問17で「2.」～「4.」の「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。自宅から保育ステーションへの送迎方法は何か考えられますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、送迎を希望する施設の種類の地域について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 保育ステーションまでの送迎方法
1. 徒歩 2. 自転車 3. 車 4. バス 5. 電車 6. その他（ ）
- 送迎先の施設の種類の種類
1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 小規模保育 5. 事業所内保育 6. その他（ ）
- 送迎先の地域（最寄駅）
1. 川越駅 2. 川越市駅 3. 本川越駅 4. 西川越駅 5. 霞ヶ関駅 6. 的場駅 7. 笠幡駅
8. 鶴ヶ島駅 9. 南大塚駅 10. 南古谷駅 11. 新河岸駅 12. 上福岡駅 13. その他（ ）

⑭ 子育てアプリ※現在未実施			はい いいえ
----------------	--	--	--------

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい] ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	--

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい] ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	--

問21-1 問21の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 5. その他 ()	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 4. リフレッシュのため
--	--

問22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい] ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
--	--

問22-1 問22で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため 3. 親族の介護や手伝いが必要なため 5. その他 ()	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため 4. リフレッシュのため
--	---------------------------------------

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1. に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問24にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問23-1へ	2. なかった ⇒ 問24へ
-----------------	----------------

問23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. 子どもだけ(本人のみ、きょうだいのみを含む)で留守番をさせた	□ □ 日
ク. その他()	□ □ 日

⇒ 問23-2へ

⇒ 問23-5へ

問23-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
 (病児・病後児保育事業：日額2,000円(前年度市民税非課税世帯等は無料) ※利用にあたっては他に飲食物費や医療費等の別途負担がかかる場合があります)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問23-3へ
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問23-4へ

問23-3 問23-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：緊急サポートセンター等)
 4. 自宅に保育者が訪問して保育を行う訪問型による事業※現在未実施
 5. その他()

問23-4 問23-2で「利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数など)がよくない
 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない
 6. 親が仕事を休んで対応したほうがよい
 7. その他()

問23-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ。」から「ク。」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問24へ
 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問23-6へ

問23-6 問23-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他（ ）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期の利用のみ)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域における子育ての援助活動)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. トワイライトステイ (児童養護施設で平日※の夜間（21時30分まで）子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ショートステイ (児童養護施設で平日※に宿泊を伴って子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. 利用していない ⇒ 問24-1へ	

⇒問25へ

※祝日及び年末年始を除く

問24で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
 2. 事業について知らなかった
 3. 地域の事業の質に不安がある
 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
 9. 定員に空きがない等の理由で断られた
 10. その他（ ）

問25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問26へ		

⇒ 問25-1へ

問25-1 問25で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（<input type="text"/>） |
|--|

問26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	イ. ショートステイを利用した （児童養護施設で1週間を限度として、宿泊を伴って子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	ウ. イ. 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	エ. 子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	オ. 子どもだけ（本人のみ、きょうだいのみを含む）で留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. なかった		

⇒ 問26-1へ

問26で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。ア. 以外を選択した方は⇒問27へ

問26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒5歳未満の方は、問31へ

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。月額利用料 平成30年度 8,000円 傷害保険掛金年額 500円※世帯の所得状況等により保育料が減免される場合があります。このほか、各保護者会でおやつ代、教材費、保護者会費を徴収しています。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="text"/> 日くらい⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 放課後等デイサービス※	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。川越市では現在実施していません。
※「放課後等デイサービス」…心身に障害または発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

問28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="text"/> 日くらい⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 放課後等デイサービス※	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。川越市では現在実施していません。
※「放課後等デイサービス」…心身に障害または発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

問29

問27または問28で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない] ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない] ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問30

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない] ⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで

問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問31-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月
--------------------	--------------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月
--------------------	--------------------

問31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問31-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(1)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他 () |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6. その他 () |

問31-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問31-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問31-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他 () |

(2) 父親

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 10. その他 () |

問31-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問31-9 お子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得しますか。口内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	ヶ月
------------------------	----------------------	----------------------	----

(2) 父親

<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	ヶ月
------------------------	----------------------	----------------------	----

問32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。



問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。



川越市マスコットキャラクター ときも